

(法第28条第1項関係)

2011年度事業報告書

特定非営利活動法人兵庫障害者センター

1 事業の成果

日常でかけることが困難な障害者とその家族は、福祉や医療、生活について多くの情報を必要とし、安心して生活するために相談できる場所を探しています。兵庫障害者センターが活動の開始より相談活動を継続して行っていることが、障害をもつ多くの人たちの支えとなっています。障害者と家族のために毎月第2土曜日に定例相談日を設定し、社会保険労務士や弁護士など専門家によって相談を受けています。日常的にも電話による相談が増えています。

障害者権利条約研究会は、障害者権利条約を障害者に役立つものにするためには、どのような内容のもので、どう活用できるかを考え、学習しました。障害者制度改革推進会議のまとめた「骨格提言」を学び、権利条約のあるべき姿を考え、学習の内容を冊子にまとめ発行する予定です。

障害者団体の活動を支援する場所としての事務所・会議室の活用も成果があり、団体間の情報交換の場として役立ち、さまざまな障害者とその家族のための支援活動は着実に成果を上げているものと実感しています。

2 事業の実施に関する事項

(1) 医療・福祉・教育・生活など暮らしに関する相談助言と支援事業

障害者のための相談日として毎月第2土曜日に開催することができました。弁護士、社会福祉労務士、社会福祉士などそれぞれの分野の専門職の対応により相談活動にも成果が上がっています。また、相談内容も年金受給手続きや支給停止など多岐にわたっています。特に、年金不支給や支給停止などの事例について、個別に対応し支給された実績があります。事務所の開所日には電話や、メールでの相談があり、内容によってそれぞれ個別に対応しています。

日時	相談者	相談内容	対応者
2011/04/09	障害者と家族 1名	年金受給について	社労士、実務者
2011/05/14	障害者と家族 2名	年金、生活保護の受給について	社労士、弁護士
2011/06/11	障害者と家族 1名	相続のこと、年金受給について	弁護士、社労士他
2011/07/09	障害者と家族 3名	年金受給、くらしの相談	社労士、実務者
2011/09/10	障害者と家族 2名	生活保護、年金について	社労士、相談員
2011/10/08	障害者と家族 1名	生活保護の受給について	相談員
2011/11/12	障害者と家族 2名	相続、年金のこと	社労士、弁護士
2011/12/10	障害者と家族 1名	施設入所、年金	社労士、社会福祉士
2012/01/14	障害者と家族 2名	障害年金支給停止になった	社労士、相談員

2012/02/11	障害者と家族 2名	年金、施設入所、相続の問題	社労士、弁護士
2012/03/10	障害者と家族 2名	年金について、病気の治療について	社労士、相談員
電話相談随時	障害者と家族 多数	施設入所、年金受給、生活保護	実務者

(2) 医療・福祉・教育・生活など暮らしに関する調査・研究と情報提供、及び各種つどい開催事業

A) 権利条約研究会PartⅡとして延べ4回開催しました。「障害者権利条約学習会」を開催することができました。学習会のまとめを冊子として発行予定しています。

- **2011年8月6日 第1回「障害者権利条約は差別禁止法に何をもとめているのか」** **参加者28名**

講師：弁護士 藤原 精吾氏

- ・障害があるということはどういうことか
- ・障害者差別とはどういうことか
- ・具体的な実態を通してわかりやすく解説してもらった

- **2011年9月17日 第2回「障害者と社会保障」** **参加者30名**

講師：瀧澤 仁唱氏（桃山学院大学法学部教授）

- ・差別禁止法に関する市民案と日弁連の比較
- ・ドイツにおける社会保障と人権意識の比較
- ・改正障害者基本法における差別禁止規定に対する意見、障害者社会保障の確立に向けた意見

- **2011年10月16日 第3回「障害者権利条約と障害者総合福祉」** **参加者26名**

講師：鈴木 勉氏（佛教大学社会福祉学部教授）

- ・障害のとらえ方、障害者観（ノーマライゼーションとインクルージョンの思想）
- ・ユニバーサルデザイン、特別措置、合理的配慮など障害者の平等回復に必要な措置
- ・権利条約に違反する障害者自立支援法

- **2011年11月13日**

第4回「障害者制度改革の現状と課題」

参加者57名

講師：佐藤 久夫氏（日本社会事業大学教授）

- ・障害者制度改革の検討経過、総合福祉部会 での議論
- ・障害者総合福祉法・骨格提言の意義と6つのポイント
- ・障害者制度改革をめぐる政治状況と今後の運動課題

B) 東日本大震災の発生で、兵庫県が阪神・淡路大震災の被災地として障害者に対する避難の体制がどう整備されたかを「災害と障害のつどい」を開催しました。

日 時： 2012年1月21日（土）13：00～16：30

会 場： 神戸市勤労会館 会議室308号

参加者： 130名

「東日本大震災と障害者支援
～阪神・淡路大震災の教訓はどう生かされたか～」

特別報告 「東日本大震災における要援護者への支援と継続のために」

福島県南相馬市からJDF障がい者支援センターふくしま 事務局長和田庄司さんが神戸に来てくださいました。被災直後から障害者に対する支援を続けた経過を報告がありました。

支援報告 「支援活動の実際とこれから」

きょうされん兵庫支部松本多仁子さんからは、震災後何度も南相馬市に行って障害者支援を行った様子を報告しました。

講 演 「災害と障害者」

神戸大学工学研究科大西一嘉先生は、福祉避難所の考え方や、要援護者に対する支援体制の課題を講演されました。

調査報告

「障害者と災害に関する県内自治体アンケート」 結果報告

県下41市町に対して「災害時要援護者に対する避難所」についてアンケートによる調査を実施し、40市町より回答を得た。福祉避難所の設置状況等を井上事務局長から報告しました。

- ※「ひょうご安全の日推進事業」「兵庫県社会福祉協議会、神戸市 社会福祉協議会、神戸新聞厚生事業団、読売光と愛の事業団の後援及び助成金をいただき開催しました、
- ※「災害と障害者のつどい」の開催予告、開催時の様子が新聞各誌に報道されました。
- ※「災害と障害者のつどい」のまとめとして、冊子を発行しました。特に自治体アンケートの調査まとめは、自治体施策の向上に波紋を呼ぶ結果となり、自治体からも送付の依頼が来ています。
- ※聴覚に障害をお持ちの方のために要約筆記、手話通訳士を依頼し講演会の聴講ができるよう配慮しました。

C) 情報提供

- ① ホームページを管理運営し、学習会や集いの予告などを掲載しました。
- ② 研究会など開催に際してニュースを発行し、開催の様子や内容を報告しました。

(3) 障害者団体の援助・支援事業

団体の活動への相互参加や情報交換ができること、また団体の活動拠点として役立っています。また、資機材の利用は円滑であり、共同事務所として順調に運営しています。

4月 6日	理事会 総会の準備と打合せ	参加者	11名
5月21日	理事会 総会のこと、学習会のことの話し合い	参加者	9名
6月17日	事業計画について打ち合わせ	参加者	10名
7月11日	権利条約研究会の内容について詳細をうちあわせ	参加者	5名
1月 5日	懇親会 新年を迎えて団体役員の交流	参加者	10名
1月12日	ひょうご安全の日のつどいの開催について打ち合わせ	参加者	5名
2月10日	権利条約研究会のまとめ冊子の編集について	参加者	4名
3月 5日	権利条約の冊子、安全の日の報告集の編集について	参加者	3名
3月27日	2011年度のまとめ、来年度の計画について	参加者	8名